

何か現場でお困りのことはありませんか？

④【クラリネットが止まる】課題は大きい。平日、急にクラリネットのサーバーメンテナンスのメール連絡がくる。メンテナンスが必要なのは承知できるが、平日にしないでほしい。なんとかならないものだろうか。このような時、教職員は、勤務時間を超えて入力したり、休日出勤して入力したりしている。サイバーリンクスは、夜間にメンテナンスをおこなうように教育研究所に要望してほしい。

【昨年度は2回、処理速度を速めるために、サーバーの増強メンテナンスをしました。通常のメンテナンスは夜間におこなっていますが、非常時は日中であっても早急におこなう必要がありました。こういう事態にならないように、サーバーの増強はサイバーリンクスに申し入れています】

(サイバーリンクスさんに費用は支払っているはずなので、少々強気で要望してください)

⑤教育研究所は、教育現場でのクラリネットの使い勝手はどうなのかという【声】を吸い上げる機会を積極的に模索してほしい。

秘密のQRコード



遊び半分で入力、最後に送信してください。実験&練習です。6/10にリセットするので心配無用です。お願いします。協力してください！

53歳で新しいことにチャレンジ！奈良教組の友人2人の手ほどきにより、意外と短時間で簡単に無料で作成できました。お時間がある時に、ぜひスマホのカメラで読み取ってください。作った自分としては、本当に実用できるのか不安なのです。一人でも多くの組合員さんに試してもらいたいです。そして、『使い勝手』についてご意見をいただければたいへんありがたいです。どうかよろしくお願いいたします。

①GIGAスクールを円滑に行うためには、児童生徒数PC1台だけではなく、学級数（欲を言えば特別教室も必要なのではないか。職員室で使用している校務用PCを毎回、教室に持って行ってWi-Fi接続しなくてはならない。どの教室にもPCがあれば便利なのに。さらに言えば、PCよりも児童生徒と同じタブレットで、教師用タブレットの配布があれば最も便利である。

【和歌山市教育委員会は、市の予算獲得のため、和歌山市に対し予算要求をしているそうです】
(夏季交渉の課題に残しておきましょう)

②ある中学校では、2020第2学年5学級が20213学年になった今年、1学級分のPC設備・環境がなく、他の4つの学級に比べ、進捗が大幅に遅れていることを保護者に指摘されている。こんなことは前年度に想定できたはずなのに。

【2020年度の予算で2020年度の設置をしました。新年度になり当該学年が学級増になれば、不足することはありません。2021年度の不足分については、現在2021年度の予算を執行しながら、順次進めています】

(ほう~そういうもんなんや。実際、4月からの進捗に差が生じているのですが。前年度に想定できていたとしても、予算の執行って、そういうものなのか。なんかいい方法はないのでしょうか)

③教育研究所の情報担当者が教育現場の課題を把握するために各学校を巡回訪問することを提案する。過去に、アンケートがあったような気がする。

【要望を聞くための巡回も考えていますが、課題ばかりではなく、GIGAのプラス面の実践を広めるための訪問を考えています】(よろしくをお願いします)

「残念ですが、今年も……」第32回定期大会も昨年と同様にコロナウイルス感染症拡大防止のため参集見合わせ、書類発送による書面決議に変更することを執行委員会で決定しました。ただし、議事以外の部分、例えば「大福引き大抽選会」などは、ウクチンの接種状況や感染状況をふまえ、秋以降に実施する可能性を残しております。一日も早く明るい兆しが見えることを期待しましょう。

定期大会は、今年も参集見合わせ書面決議に変更します。



第1192号
2021.05.21
編集部発行
Tel 436-6820

WTU
編集部

組合員配布

四月から新規加入組合員が七人ありました。皆さんの職場でも声かけしてください。日教組和歌山の組合員を増やして教育現場を盛り上げていきましょう。

2021年度「近畿ブロックカリキュラム編成講座」

日時 2021年 8月 6日(金) ※1日開催
 会場 ホテルリガール春日野 奈良県奈良市法蓮町757-2
 日程 13:00 開会行事(全体会)
 ・開催あいさつ
 ・基調提案
 13:20 休憩
 13:30 分科会(単組報告)

チラシは、まだできておりません。
 近ブロ教文部長会の経過報告です。

A分科会 すべての子どもの人権に視点をおいた学級・学校・地域づくり

共同研究者：森 実さん(大教大)

報告単組 ①滋賀 ②きょうと

B分科会 インクルーシブ教育をめざした学級・学校・地域づくり

共同研究者：一木玲子さん(大阪経法大)

報告単組 ①兵庫(高) ②大阪

C分科会 子ども主体の学級・学校・地域づくり

共同研究者：桜井智恵子さん(関学)

報告単組 ①奈良 ②和歌山

日教組和歌山からは、向井智哉さん(西和佐小分会)から報告があります。

<レポートの概要>

『仲間作りが上手くいけば、必要な時に必要な助け合いができる、素晴らしい集団となり、学級は居心地の良い空間となります。こうすれば学級が集団として成長し、幸せを感じるという学級経営の手法を報告します。』

司会は、寺町大生さん(東和中分会)です。

13:30 ①分科会の開会あいさつ、共同研究者・リポーター等の紹介

13:40 ②単組報告(20分以内+質疑・意見(20分))※1本目

14:20 ③単組報告(20分以内+質疑・意見(20分))※2本目

15:05 休憩

15:20 共同研究者によるまとめ

15:50 閉会行事(分科会ごと)

交通費は組合から支給させていただきます。

何か現場でお困りのことはありませんか?⑥~⑧

⑥スポーツテストの【シャトルラン】について、県教委は「実施してください」といし、保健給食管理課(市教委)は「中止してください」という。旧学校教育課(市教委)は「終わったら、外に出て空気を吸う」という。それらのバラバラな指示に教育現場が振り回されている。感染症対策の視点からも【上体起こし】についてもリスクを伴う。この際、どうしても文部科学省まで数字を報告しなくてはならない『小5』と『中2』だけの実施にはならないものだろうか。その他の学年は、リスクを伴うと判断した場合は実施せず、『空欄』を認めてはどうか。

【市教委：学校規模によって実施が困難な場合は、小5・中2であったとしても『空欄』を認めている。】

【県教委：基本的には『実施をお願いしている』という形です。要項にもあるように実施が困難と学校長が判断した場合は、『空欄』を認めています。各学校の実情に応じた学校長の判断によります。】

⑦今夏のプール指導については、校長会が『実施する方向』で進めている。条件として1クラスずつプール指導をおこなうこととする。管理職がプールに入ったとしても、学校規模によっては3人のプール監視を確保できない場合がある。その場合は、保護者にプール監視を募るといふ。責任の問題もあるし、そこまで無理をしてプール指導を実施しなくてはならないものだろうか。

【市教委は、『1クラスずつ』とか『保護者にプール監視』などは言っていませんでした。おそらくそれは、その学校独自に必要な対応だと判断してのことだろうとのこと。各学校の実情に応じて学校で決める課題です。】

(疑問や意見があれば、各職員会議でしっかり発言してください。)

⑧梅雨に入りましたが、エアコンの使用許可期間が6月1日からです。湿度が高い中でのマスク着用は身体への負担も大きいと思います。試用期間の前倒しを教育委員会はもちろん考えていると思います。子どもたちの安全を常に現場に指示するのですから。前倒しはいつからなのでしょう?まだ、現場には伝えられていないです。

【この一件については、翌日早速メールで各学校に流してくれました。学校長の判断で『柔軟に』使用できます。】

(一人の組合員さんの声が、一晩で和歌山市内の全ての小中学校に届きましたね。でも⑥~⑧は、全部『学校長の判断で』という結論でした。コロナ禍が始まってから、『学校によってバラバラ』というのは、いつも同じですね。)